NIJINOKAI

SSTL
虹のかけはし
―私たちからあなたへ―

No. 72

発行人：埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒333-0851　川口市芝新町15－9
アステール藤野1階
編集人：社会福祉法人　川越にじの会
障害者支援施設　にじの家
理事長　菊池崇臣
〒350-0002　川越市古谷本郷９９２番地
TEL049-236-0666　FAX049-236-0665
http://k-nijinokai.com/
E-mail：niji@k-nijinokai.com
郵便振替口座番号　00180－5－657610
◎購読料 1部100円

第1期中長期計画を振り返って

理事長　菊池崇臣

振り返れば平成最後の年度である平成三十年度もあっという間に月日が過ぎていきました。年を重ねるごとに過ぎ行く月日のスピードを速く感じるというのは、皆さんも感じているところだと思いますが、それがここ数年は顕著に感じられるようになっております。このように感じる理由については諸説あるそうですが、うちの子が毎週好きで観ているあるNHK番組では、大人になると「ときめき」を感じる機会が少なくなるからと言っていました。大人になると毎日が同じ作業の繰り返しに感じられ、印象に残る出来事が少なくなり、ときめきやワクワクを忘れてしまった大人たちの1年はあっという間に過ぎていってしまうと・・・。確かに新たな体験も減る中で、日々の業務に追われ「ときめき」を感じることが少なくなった自分がいるなぁと思ったところです。(笑)

話が脱線しましたが、平成三十年度は、当法人の第1期中長期計画の最終年度でした。「地域生活支援事業の拡大」「施設生活支援事業の拡充」「人材確保と職員の意識改革」の3つを柱として掲げ4年間取り組んでまいりました。地域生活支援事業の拡大としては、念願の1棟目のグループホーム及び、放課後等デイサービス事業の開設が大きな成果でした。施設生活支援事業の拡充としましては、入所施設内の部分改修工事を行って、併設されている短期入所ベッドの増床が実現しております。人材確保に関しましては、どこも人材確保に躍起になっている状況ではありますが、当法人としましては、ここ3年は一定数の新規職員を確保することができております。しかしながら、グループホームや放課後等デイサービスの運営、短期入所の稼働率、職員の意識改革といった面では一部課題を残したまま、第1期を終えるところがありますので、次期計画において引き続き注力してまいります。

本広報誌が発行される頃には、第2期中長期計画の策定も終わっている頃と思いますが、法人職員の皆が「ときめき」や「ワクワク」を感じられるような計画になっていることを願っております。

最後になりますが、今年度も多くの方々に多大なるご支援とご協力を賜りましたことに感謝申し上げますとともに、引き続き変わらぬご支援のほどよろしくお願いいたします。

今年度を振り返って

施設長　髙橋　潤

平成30年度を振り返ってみますと、まずは報酬改定があり、障害者支援施設においてマイナス改定になるのか不安なことがありました。しかしながら、全体で0.47%のプラス改定で障害者支援施設では、ほぼマイナス的な要素が少なかったことは、障害者支援施設の運営を考えると、安心したところでございます。但し、3年後の見直し時期には、食事提供体制加算など持ち越した課題であったり、障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）に関する報酬改定の見直しも当然考えられます。障害者を支援する機関・団体・協会等にアンテナを張りながら、今後とも注視していきたいと思っています。

3年ごとでいいますと、平成30年度は当施設の多くの利用者の方の障害支援区分の判定の時期でもありました。障害支援区分（障害程度区分の時期も含め）におきましては、当施設の利用者の多くは3回目にもなりますが、段階的に知的障害における障害特性が反映しやすくなってきたと、市町村の認定調査員の方と実際に実施した職員との話の中でも感じているところです。これは障害福祉における関係機関の要望と行政の方とのご理解によるものだと思っています。引き続き、利用者の方の障害特性がよりご理解いただけるような機会や適時要望にしていきたいと思っています。

当施設におきましては、本年度も若いスタッフが5人入職をしています。どの業界を見ても人材雇用に関しては苦慮しているところではあるかと思いますが福祉の職場においては厳しさを年々感じております。人材を雇用しやすくするための入り口の部分では、法人でも毎年検討しているところでありますが、日本の少子高齢化の影響による若年層の労働力不足が続く中では、通年の課題になると思われます。その希望をいだき入職したスタッフがより羽ばたけるようにすること、それには、能力向上の研修計画の実施だけではなく、人と人とのコミュニケーション力が大切だと考えます。利用者の方、ご家族の方、スタッフ同士、他職種との連携において、コミュニケーションなしには、より良い支援・業務が果たせないと思いますので、今後もそのあたりをスタッフ全員で大切にして、チームワークを意識していきたいと考えております。

第26回・にじの家ふれあい祭り

11月3日(祝)に毎年恒例となっております『にじの家ふれあい祭り』が開催されました。今年は雨の心配もなく、晴れ晴れとした中でお祭りを迎えましたが、秋とは思えない程カラッとした天気となったので、利用者の方だけでなく来場された多くのお客様も暑そうにされている様子が窺えました。今年も昨年度に引き続き、どんどこ太鼓の皆様の力強い太鼓の演奏、ダンロップスポーツクラブチアダンスクラス様のキレのあるダンスの披露、川越東高校吹奏楽部の皆様のパフォーマンスが行われました。素敵な音色と迫力の演出で会場は大いに盛り上がっていました。今年変化があったことは、毎年家族会の方々がやきそばを作っていますが、今回から職員が作ることになりました。初めは慣れないやきそば作りに悪戦苦闘していましたが、お祭りの最後まで多くの方々にやきそばを振る舞っていました。今年度も無事にふれあい祭りが開催することが出来たのは、ご家族の皆様、ボランティアの皆様、地域の方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

実行委員　井上翔平、鈴木里佳

ふれあい祭り収支決算書

単位：円

収入の部				支出の部			
御祝金	291,000	ジュース売り上げ	20,700	郵便料	18,860	厨房食材・小物	138,070
全本田労連埼玉地協	13,500	ゲームコーナー売り上げ	17,750	ちらし・材料費	50,000	音響レンタル	32,400
焼きそば売り上げ	58,500	作品販売	21,230	クレープ代	50,000	ゲーム景品	13,923
クレープ販売売り上げ	50,000	バザー売り上げ	38,510	ボランティア食事	12,691		
にじの家模擬店	44,800			ボランティア保険	1,470		
		収入合計	555,990			支出合計	317,414
						利益合計	238,576

事業所紹介

放課後等デイサービス なないろclub 始めました♪

佐々木　裕美

八月一日付けで、障害児通所支援事業、放課後等デイサービスを始めました。

放課後等デイサービスとは、六歳～十八歳までの障害のあるお子さまや発達に特性のあるお子さまが、学校の授業が終わった放課後や夏休み等の長いお休みに利用出来るサービスのことです。個別活動や集団活動を通して、ご家庭や学校以外の居場所として、また、友達を作ったりすることの出来る場であったりします。障害のあるお子さまの学童と表現されることもあります。

なないろclubでは、定員を十名として、月曜日～金曜日（祝祭日を含む）に開所しています。一月現在では、定員に達していない状態ですが、近隣の散歩やドライブに出掛けたり、学校からの課題や体操、室内ゲーム等、一人ひとりのお子さまの状態に合わせながら、活動を提供し、活動を通して学びを得ていけるように支援しています。

日帰り外出に行ってきました！

A棟支援員　伊藤　栞

一月十一日(金)に「森林公園」へ出掛けました。利用者の方々は大型バスに乗ると、とても嬉しそうな表情をしており、職員と歌を歌ったりしながら現地へ向かいました。公園に着くと、風が冷たく冬の寒さを感じましたが、晴天に恵まれ園内を散歩すると気持ちよく感じられました。東屋を見つけ皆で席に着き、昼食の生姜焼き弁当を食べました。皆さん嬉しそうに食べていました。昼食後、園内をゆっくりと散策し、枯葉を踏んで音を楽しんでいる方や池にいる鴨を見つめている方もおり、皆さんの楽しまれている様子に、私も嬉しく思いました。

なかなか普段では味わえない外出の機会を皆さんと共有することができ、利用者の方々の生き生きとした姿を見ることが出来て、私自身も楽しい思い出となりました。

B棟支援員　青木　光

二月八日(金)、まだ冬の寒さが残っていて、外に出ると顔に当たる風が冷たく感じ、暖かい食べ物や、布団のぬくもりが恋しくなる日にB棟の方々で外出をしてきました。

今回のテーマは、「平成最後の冬をJAZZと自然で楽しみましょう」でした。

外出先は、ミルキーウェイブというレストランで食事をとり、狭山の智光山公園へ行きました。レストランではJAZZなBGMが流れており、普段とは違った雰囲気のなか、マスターおすすめのハンバーグをおいしくいただきました。その後、智光山公園内で少し散歩をして施設に帰りました。散歩や食事の機会も普段の生活と違い、ちょっとした気分転換になりました。

また、利用者の方々や職員等、施設の皆さんが笑顔になれるような企画を考えていけたらと思っています。

C棟支援員　川口修雅

十二月七日(金)、日帰り外出で所沢航空記念公園に行ってきました。空気が冷たく何もしていないと寒かったですが、いざ歩くと体も温まって、気持ち良く散歩することが出来ました。

利用者の方の中には飛行機が好きな方もいたため、公園内に展示されている飛行機を見て、嬉しそうにしている様子を見ると、企画したこちらも嬉しくなりました。多くの方は散歩が好きなので、普段行くことのない場所で歩けたこと自体が、良い思い出になったことだと感じております。

お昼になったところで豪華なハンバーグ弁当を食べました。

施設ではなかなか食べることのないメニューだったため、皆さんとても美味しそうに召し上がっていました。

いい思い出となる一日でした。

D棟支援員　天沼真子

昨年の十一月八日（金）狭山市にあります智光山公園まで、D棟の方々で日帰り外出へ行って来ました。にじの家を出発し、まず始めにほっともっとで、とんかつ弁当を購入し、公園へ向かいました。公園に到着し、ベンチに座りお弁当に舌つづみを打った後は公園内を散策しました。公園内には色とりどりのバラが咲き誇っているのに加え、紅葉も色づき始めており、散策にはまさにぴったりな造りとなっておりました。

当日はあいにくのお天気となってはしまいましたが、散策中の利用者の方々の表情は明るく、にこやかでした。利用者の方々の笑顔を多く見ることができ、職員としても嬉しく思いました。またこのような外出の機会や、利用者の方が笑顔になれるようなイベントを作っていけたらと思います。

今号までにお世話になった方々を紹介します

紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《ふれあい祭り》

君塚加奈・小出夏未・藤井 彩・佐藤りほ・曽根加奈子・石栗真愛・髙野美穂・小林治美・後藤未樹・大津玲子・松田 都・谷平秀子・伊藤富士子・望月有希・金岡裕美・竹谷裕子・伊勢国望・木村正義・工藤洋二・並木敬三・工藤江里子・堤 薫・松沢照子・栗原正和・海鉾光明・海鉾富美子・大嶽敏郎・金子正治・石村将久・南 公子・唯根孝夫・武藤建一・武藤志寿子・皆川絢哉・佐久間君枝・毛利徳夫・本間充子・中野忠次郎・佐藤あさ子・菊池富士子・森谷ゆう香・松本佳苗・齋藤明恵・藤田秀人・西川達也・後藤健介・宮崎 聡・森田祐輔・染谷晴佳

《散髪》

関口留美子・横山 晃・鶴見 修・鶴見真哉

《棟・作業》

谷平秀子

《ご協力頂いた企業》

(株)ソーラ・立原電機（株）・泉名本店・虎屋商事(株)・三陽工業・(有)加藤工業・(株)伸栄製作所・(株)日武設備・グリーンロジテック(株)・(株)服部金属・金子商店・春陽苑・えすぽわーる伊佐沼・日本サッシガラス(株)・常盤工業(株)・ポプラの樹・(株)富士薬品・鈴木商店・埼玉精機(株)川越工場・みつばち作業所・川越アトレ福祉の店・川越市役所・高階市民センター内福祉喫茶 茶房ひととき・南古谷大樹作業所

～にじの家の生活や行事におきましては、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます～

皆様からのご支援に感謝して

平成三十年八月一日から三十年十二月三十一日までに「川越にじの会後援会」にご寄付いただいた方々のお名前を掲載致します。なお、紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《後援会加入者》

嶋田 剛・百瀬登志・瀧澤友孝・瀧澤亮子・森 静江・西澤輝重・西澤慧美・戸村寿一・井上 徹・杉岡淳男・櫻井範子・野本和幸・逆井克己・藤田早苗・田内裕子・岸 眞行・桑山七郎・桑山静子・横田尚美・黒沼史朗・飯田 弘・唐津輝夫・上原一郎・上原満里・小林 武・氷見雪江・伊藤美保・植木道子・江田あき子・大野 睦・大石咲智子・久保木幸子・中田美佐子・橋本静代・武市ルミ・(株)丸広百貨店

《一般寄付者》

ランチカフェくるみの木・中島美佐子・常盤工業㈱・丸田寿夫・全本田労連埼玉地協・（医）愛和会愛和病院・（福）川越にじの会後援会

お知らせ

退職しました

＊支援員 高橋 健也
新保 明
梶木 美咲
伊藤 栞

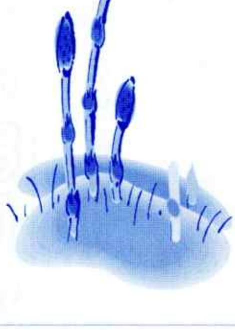
＊調理員 山口 美津枝

平成三十一年三月三十一日付

お子さんが生まれました

＊支援員 日隈 聡

十一月四日 第一子誕生



二〇一九年二月十九日発行増刊（毎月十二回二と四と六と八の日）
一九九四年八月二十四日第三種郵便承認
編集人 社会福祉法人 川越にじの会 障害者支援施設 にじの家 電話 〇四九-二三六-〇六六六
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町十五-一九 アステール藤野一階 頒価百円

編集後記

今年最後の広報誌も無事に発行することができました。今年度から始まった放課後デイサービスの紹介や数年ぶりに各棟で行った日帰り旅行での様子が掲載されており、読んでいてほっこりする内容だと思われます。また、今号で平成最後の広報誌となりますが、来年度も「にじのかけはし」は発行していきますのでよろしくお願い致します。

◇◇◇◇◇◇

【広報担当】

日隈 聡・宮崎 勇真
阿部 晴香・時田 由依
樋口 春菜・仲神 雄哉

◇◇◇◇◇◇